

イチキ大工通信

NO.9

お問合せ

mobile:080 (1059) 1426

mail:info@ichiki-daiku.com

だいぶ更新が滞りました…すみません。

上棟式から約二か月が経ち、新しい学童は屋根の下地を貼り終えました。厳しい残暑の中での屋根工事も、またまた体力の奪われる日々でした。やっと涼しい季節がやってきて、仕事もはかどり始めています！

今年の夏に作製した構造の模型を覚えているでしょうか？9月上旬には、その模型と同じ形になり、いよいよ形になってきた様子を子どもたちも感じてくれていたようです。

現在は二重屋根の一重目の化粧部分を張り終え、天井が見えています。とても気持ちいいです！是非、お休みの日など遠慮なく工事している学童を見に来てくださいね！また、イチキ大工のfacebook、Instagramでも随時工事の様子など更新していますので、チェックしてください！

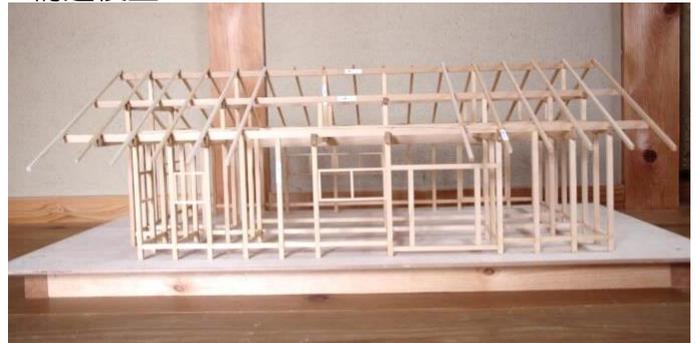


木を組むことで材料が長くなりました。これが垂木になります。

垂木とは…
屋根板（屋根の下地）を支えるための、棟から軒に渡した木

↑NO4で紹介した「追っかけ大柱継ぎ」の技法を使って、垂木を組んでいきました。

構造模型



←9月上旬
垂木が付いて、模型と同じ形になりました！



屋根の化粧板が貼られ、天井がきれいです。屋根がつくと家のイメージも湧いてきます。

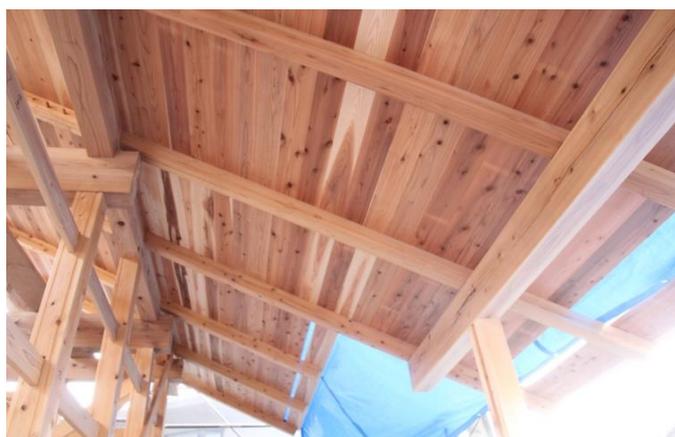


屋根は二層にして、風が抜けるように通気層を設けて熱を逃すような造りにしています。それにより、夏場の暑い熱も軽減されることでしょう。



二重目の屋根に防水シートを貼りました。
この上から板金材を貼り、屋根が仕上がります！

<軒の出た家～なぜ軒が出ているの？～>



今建てている学童の中に入ると、少し薄暗く感じる人もいるかと思います。その原因は、家の軒が出ているから。

軒を出すことによって、夏場の暑い日を遮り、風の通る家にする、雨水の吹込みを防ぎ、雨から家を守る、それによって外壁の劣化も防ぐことができます。冬は日射角度が低いので、日差しを遮ることはありません。

軒を出すことで、メリットがたくさんあるのです。

カメラマンさんの紹介



二宮 明子 さん

以前、笠間小学校の子のお迎えをしてくださっていた二宮さんです。今回の建替えの話を耳にし、建て替えの様子や経過を撮影したい！と申し出てくださいました。写真撮影は二宮さんの本業だそうで、素敵な写真をたくさん残してくださっています。

現場に来た際には、大工やその他の職人さんにもいろいろと話を聞いて、工事の状況や構法の意味を知った上で撮影してくれています。

工事終了後にはフォトブックにすることも可能とのことですので、その際にはまたお知らせしますね！
二宮さん、最後まで撮影をよろしくお願いいたします！